



公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

THE KOHO



3

月

Vol. 3.2014.

通巻 No. 339

第 266 号

巻頭言

「春うらら」

倅が不安を口にします。4月から中学生となる倅は新しい環境に大きな不安を抱えているようです。

3月 - 年度末となりました。卒業、入学、転勤、転職など環境が大きく変化する時期です。

4月 - 社会保障制度改革の中でも診療報酬や介護報酬、地域包括ケアシステムなど理学療法士を取り巻く環境も変化していきます。その中でも注目されるのが1月20日批准、2月19日に効力が生じた「障害者権利条約」です。これによって今後、障害者の権利の実現に向けた取り組みが強化されていきます。

本県でも「県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」が県議会において全会一致で可決・成立し、4月から施行されます。(全国で6番目)

理学療法の知識や技術の探求は我々の使命ですが、我々の対象者である障害者(患者)の立場や社会的環境を理解することは理学療法の幅を広くするだけでなく、在宅復帰や転院などの新しい環境への不安を取り除くきっかけとなり、心強い味方にもなれます。社会人として医療従事者として理学療法士として、少しでも見聞を広げてはいかがでしょうか。

春うらら、倅の門出を祝う気の効いた言葉を少し考えてみます。

事務局長 城間 定治



INDEX

巻頭言P1
役員研修会 P2
介護予防従事者研修会 P3
訪問リハビリテーション実務者研修会 P3
歯科SUNフェア P4
訪問リハ・通所リハ推進部情報交換会 P4
「社会福祉施設腰痛予防対策講演会」 P5

理事会報告 P6-7
事務局便り P8
教育学術局便り P9
沖縄県理学療法士協会主催研修 P9
他団体研修案内P10-11
広報部便りP11

発行:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務所

〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里1丁目4号22番301号 TEL&FAX:098-930-5023

URL <http://www.oki-pt.jp/>

E-mail: optaoffice@oki-pt.jp



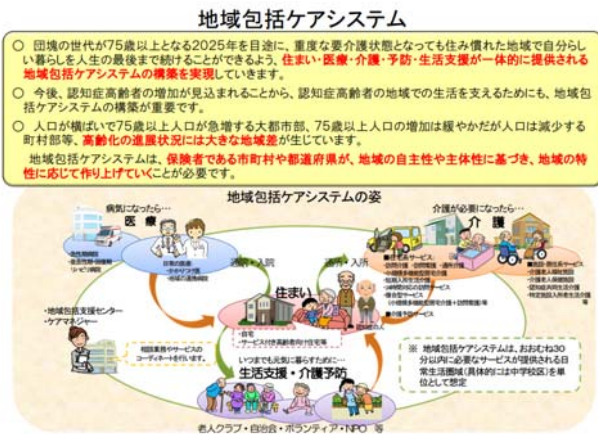
平成25年度役員研修会 地域包括ケア推進に向けた研修会



半田一登 会長

平成25年度役員研修会が日本理学療法士協会の協力のもと平成26年2月21日に大浜第一病院ふれあいセンターで開催されました。今回は「地域包括ケア推進に向けた研修会」と題して、日本理学療法士協会の半田一登会長にお越し頂き、社会保障制度改革における地域包括ケアシステムと日本理学療法士協会の取り組みを中心にお話ししていただきました。会場には役員を中心に市町村で活躍する理学療法士40名が詰めかけ、高い関心が伺えました。

さて、ご周知のように、団塊の世代の方々が75歳以上になる2025年を目途に「高齢者が尊厳を保ちながら、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい人生を最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が日常生活の場で一体的に提供される地域包括ケアシステム」の構築が国によって推進されています。



この「地域包括ケアシステム」は「介護・リハビリテーション」、「医療・介護」、「保健・予防」、「生活支援福祉サービス」、「住まいと住まい方」で構成され、リハビリテーションがその中核をなすことが説明されました。また、地域包括支援センターにリハ専門職が配置されることから我々理学療法士が果たす役割も大きくなるのがわかります。

今回の研修で半田会長から、この「地域包括ケアシステム」において理学療法士がこれからやるべきこと、担うべき役割についてご提言を頂き、大変刺激を受けました。

当協会ではその「地域包括ケアシステム」の推進に向けた事務局機能の向上、人材の育成が課題であり、早急に取り組む必要があります。県・市町村が主体的に展開するこ

のシステムに対応するためには会員個々の意識を高め、県民の保健・医療・福祉に対する期待に応えていかなければなりません。そのためにも役員だけでなく、会員一人ひとりの英知を結集し、社会的課題に取り組んでいきましょう。（取材：城間定治・池間裕輔）



出典：厚生労働省HP http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/

介護従事者研修会 『運動器機能向上プログラム～高齢者にとって継続しやすい仕組みとは？～』

去る平成26年1月23日、浦添市てだこホールで介護予防従事者研修会『運動器機能向上プログラム～高齢者にとって継続しやすい仕組みとは？～』が行われました。

今回はケアマネージャー・保健師・社会福祉士・看護師・健康運動実践指導者・理学療法士・作業療法士など、福祉・介護に関わる多くの職種が集まり、100名を越える方々の参加がありました。



講師は、県内で活躍されている3名の理学療法士、協会副会長の神谷之美先生、金城一二先生、高原充江先生が講話や実技を行いました。神谷之美先生は運動器機能向上プログラムを安全に行う為に、高齢者の特性や行動変容についてなど介護予防に従事している各職種へわかりやすく説明を行いました。金城一二先生はヨガ療法・呼吸法を取り入れた実技を行いました。会場全体で実技を行い、参加者それぞれが自分の身体を動かして熱心に取り組む様子がみ



神谷之美先生

られました。高原充江先生は普段、北谷町職員として勤務されており、北谷町の介護予防事業をどのように展開してきたかを講話しました。理学療法士という専門職だが行政の一職員である立場から『行政で働く理学療法士』としての話をされていた事も印象的でした。神谷副会長より、今回の研修は沖縄県理学療法士協会が沖縄県から委託を受け、事業内容の企画を任せていただいた大きな機会であり、今後理学療法士の活躍の場が広がる事を期待していると話がありました。専門知識や経験をわかりやすく



高原充江先生

説明する先生方を拝見し、理学療法士の可能性を感じわくわくする時間を過ごしました。

多くの知識や経験、対人スキルなど、より多くの事が求められる職種だと思いますが、私達一人一人が、理学療法士としての責任をもち、今日の前にある課題や目標に向かって行動することがこれからの発展につながるのではないかと感じる機会となりました。（取材：仲吉）



訪問リハビリテーション実務者研修会



運営メンバー

平成26年2月2日、9日の二日間にわたり、訪問リハビリテーション実務者研修会が行われました。これは、PT・OT・STの3つの協会共催の研修会で、両日ともに約50名の参加者が集まりました。おきなわ県訪問リハビリテーション研究会世話人のPT・OT・STの皆さんが中心となって講話や症例報告を行い、他職種からは訪問看護の金城比登美氏と福祉用具を取り扱うサトウ株式会社の赤嶺吉輝氏による講話が行われました。また、実際にエアーマットや自動体交ベッド、体交枕などが用意され、福祉用具を実体験しながら質問ができる貴重な場となりました。（取材：仲吉）

<参加者の声> 赤嶺利幸氏（理学療法士）

① 今回、参加しようと思ったきっかけは？

現在デイサービスで勤務しているが、将来地域に密着したリハをしたいと考えています。地域にはデイサービス等に通えない方もいるため訪問リハの事を知りたい、制度の事を知らない方へも説明できるよう必要な知識や連携を学びたいと思い参加しました。

② 参加してどうでしたか？

グループワークがあって良かったです。訪問リハに関わっている方々と直接話が出来たので、いろいろな意見や話を聞くことが出来ました。また、緊急時の対応や危険予知などリスク管理や連携の学びは、通所サービスでも重要なので生かしていきたいと思っています。

訪問リハビリテーション実務者研修会を振り返って：実行委員の立場より

今年度の訪問リハビリテーション実務者研修会は沖縄県本島の北部地区（研修会1日目）で初めて開催しました。2日目は南部地区（当研修会は例年、南部地区）で開催し、両日合わせて参加者95名（修了書発行者は34名）という人数の研修会でした。研修会では参加者が発言しやすく他職種の参加者と交流しやすい雰囲気の中で進めることができましたと思います。昨年度と比べ、今回は訪問リハ経験年数が5年以上という方の参加も増えました。訪問リハ経験がないという参加者も10数名いらっしゃいました。研修会の内容に関しては、訪問リハ初心者・経験者共に充実した内容であったと思われます。講義や事例紹介等の質疑応答では活発な意見が飛び交う面もありとても有意義な研修会であったと思われます。

参加された方々、ありがとうございました。当研修での学びや気づきが現場で活かされると良いですね。そして、今研修会の企画・運営に携わった実務者研修会実行委員の方々、お疲れ様でした。実行委員の連携力、レベルの高さが研修会を無事に遂行できたと感じています。実行委員長 金城良和（社会機能局 理事）



福祉用具の活用

体交枕での実践

歯科SUNフェア



出展ブース

先日、1月30日に浦添市てだこホールにて沖縄県歯科医師会主催【スペシャルうまんちゅネットワークフェア】が開催されました。共催として沖縄県理学療法士協会からも池城会長をはじめ沖縄県理学療法士協会会員6名（沖縄整肢療護園：座間味、沖縄小児発達センター：宮城、渡慶次、國場、沖縄療育園：大城、稲福ST）が参加しました。このフェアは（障害のある人の、より良い歯科保健医療を目指した情報交換の集いの場）を目的に毎年開催されています。



参加メンバー

今回、当協会からは「誤嚥しにくい姿勢について」をテーマに渡慶次氏によるスライドによる講演と國場氏による口腔ケア自助具を用いた口腔ケア時の姿勢についてデモンストレーションを行った後、歯科医師や歯科衛生士、保護者、施設関係者らと個々によるポジショニングや自助具の作り方など情報交換をすることができました。肢体不自由児・者に限らず、知的、身障者、高齢者にとっても口腔衛生、誤嚥のリスク軽減は肺炎予防、生命維持に繋がります。他職種との連携はもちろんのこと、介護者へ簡易的に継続可能な姿勢の提案や方法の伝達など理学療法士としての専門性を活かすことが求められていると感じることができました。（取材：國場）



渡慶次氏による講演

通所リハ・訪問リハ推進部 情報交換会



2月18日にちばなクリニックにて通所リハ情報交換会が行われました。今回は訪問リハと合同で行い、13施設（通所リハ：9施設、訪問リハ：5施設）から19名が参加し、3つのグループに分かれて①関係機関との連携の取り方、②通所リハ・訪問リハの目指すところ、③環境整備について工夫しているところ、の3つのテーマについてグループワークを行いました。

グループ内では参加者それぞれの症例の話しや工夫しているところを話し、そのことに関して積極的に意見交換する場面があり、時折笑顔も見られとても良い雰囲気でした。通所リハと訪問リハお互いに関わる場面や関わる時間の違いもあり、それぞれ気になっている部分やお互いに望んでいること、欲しい情報等の話しも出ていました。お互いに知っているようではなかなか知らないことが多く、今回の情報交換会は通所リハと訪問リハのそれぞれの目標を再確認することのできる良い機会になったと思いました。通所リハ推進部では今後、偶数月の第二週に勉強会を行っていく予定です。次回4月は新年度に入り、新しく通所リハへ異動する会員に向けての勉強会を予定しています。（取材：宮城）



「社会福祉施設腰痛予防対策講演会」



平成26年2月3日（月）沖縄県労働基準局にて、日本労働安全衛生コンサルタント協会主催（平成25年度厚生労働省委託業務）による「社会福祉施設（介護従事者の）腰痛予防対策講演会」にJPTA産業理学療法研究会九州（沖縄）担当講師として参加してきました。講演者ならびに会の挨拶として、沖縄労働局労働基準部健康安全課の夏井課長、産業医の伊波先生、理学療法士の山内で講演を致しました。

産業医のお話では、リスクアセスメントやリスクマネジメントの話、あとは福祉用具の話などを中心に行われ、産業理学療法では、できるだけ実践編という依頼がありましたので、身体を動かしながら、社会福祉施設での腰痛予防への取り組みの催促や、その重要性をできるかぎりお伝えするように致しました。質疑応答時間では、質疑1.「私の施設でも職員で腰痛を持っている方は多いです。しかし指導してもうまく浸透できていないことが多く、その点に関して何かアドバイスなどいただけませんか。」質疑2.「腰痛診断より、心理・社会的要因がある人にはどのように指導したらいいですか。」などのご意見を頂きました。講演終了後、質問にいらした施設では、相談A.「特養で理学療法士をしています。介護の職員のほぼ全員が腰痛をもっていて、急な休みが多く困っています。腰痛予防の勉強会を施設内にて資料を渡し、指導したりするのですが、各自が強く関心をもっている雰囲気を感じられず、指導法にすごく悩んでいます。」相談B.「社会福祉法人でリハビリ職をしています。職員のほとんどが腰痛です。正直、職員への腰痛予防対策は個人個人の資質もありますし、悩んでいます。今回の講演は貴重でした。ありがとうございました。」相談C.「理学療法士（60代近い方）です。私たちの時代に勉強したのとはだいぶ変わっていて、その時の知識でしか考えることができなかつたのですが、今回の講演はとてもわかりやすかつたし、ぜひとも今後相談をしてみたいです。ありがとうございました。」などのご相談がありました。厚生労働省の腰痛予防対策指針が「職場の・・・」からあるように、社会福祉施設の各事業、各施設において腰痛発生起因、問題を理解し、それに対して「職員への教育（産業理学療法フローチャートの紹介）」「これだけ体操の促進（産業理学療法の立場で進めています、ということ）を宣伝」「作業管理」「作業環境管理」「健康管理」を充実させていただけるようなお話をひとつひとつ話題の中で紹介しました。今後益々、時代のニーズに即したJPTAの産業理学療法分野への発展を願っております。（オフィス環境改善コンサルタント（理学療法士）代表 山内義崇）



（参加者の感想）

・老人施設において、腰痛は避けられない問題です。私たちの施設でも大きな課題となっております。しかし、今回の講習を受けて、万能な、トランスファー方法を探すより、腰痛にならないための自己管理の重要性を学びました。腰痛への課題も治療より、予防を目指していく、という課題への視点切り替えもできました。リハビリ職として、自身の身体のメンテナンス、そして介護現場へそれを発信していく事の大切さを感じました。（社会福祉法人 沖縄県社会福祉事業団 具志川厚生園 作業療法士 福地 政幸）

・日本労働安全衛生コンサルタント会主催、講演会に参加してきました。今回参加した目的は、私たちの施設において、介護職員の腰痛発生者が半数以上を占めており、それに伴い、腰痛が原因で離職していく職員もいる現状で、どのように腰痛に対して介入して行けばいいのか悩んでいたところ、腰痛予防対策講習会があると知り、参加しました。腰痛予防対策指針の解説や、作業管理についての講演は配布資料を行いながら、わかりやすい講義内容なので、改めての気づきがたくさんありました。また、腰痛対策と産業理学療法の講義では、実際の体操等を含めながら、解剖学的にも話されており、原因と予防についてとても参考になりました。施設での腰痛対策にとっても参考になった講演会でした。今回の内容を自分の施設に向けて、一人でも多くの腰痛発生者が改善できるように、また腰痛が予防できるように、対策を立てていきたいと思っております。（社会福祉法人 沖縄偕生会首里偕生園 理学療法士 梅木 綾乃）



理事会報告

[平成25年度第11回 理事会]

日 時：平成26年2月12日（水） 19：00～22:00

場 所：翔南病院 リハビリ室 （〒904-0034沖縄県沖縄市山内3-14-28）

第1号議案 入会の承認に関する件（事務局）

議案内容	【入会申請者】 申請用紙からの申請…0件 ②HPからの申請…2件 計2件 【会員動向】平成26年2月12日現在 会員数：1331名 施設所属会員数：1212名 自宅会員数119名 会員所属施設数：238施設 【期間会員動向】平成26年1月7日～2月12日※協会承認済 異動：14名（県内：12名 転入：1名 転出：1名） 休会：2名 退会：3名 復会：0名	
審議結果	①全会一致で承認。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第2号議案 日本理学療法士連盟 平成26年総会・懇親会・研修会について（事務局）

議案内容	日本理学療法士連盟より、平成26年総会・懇親会・研修会のご案内が届いています。出席のご検討宜しくお願い致します。 [研修会] 日時：平成26年2月21日（金）会場：参議院議員会館会議室 [総会・懇親会] 日時：平成26年2月22日（土）14：00～16：30 総会 平成26年2月22日（土）17：00～19：00 懇親会 会場：TKP赤坂駅カンファレンスセンター	
審議結果	①出席有。 ②出席者：池城正浩会長、神谷之美副会長、津波古会員（計3名）。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第3号議案 三幸福祉カレッジ 講師の紹介について（事務局）

議案内容	三幸福祉カレッジより、講師の紹介について依頼文が届いています。ご検討宜しくお願い致します。	
審議結果	①講師派遣は決定。講師選出は神谷副会長、金城理事へ一任する。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第4号議案 沖縄呼吸ケア研究会 セミナー後援依頼について（事務局）

議案内容	沖縄呼吸ケア研究会より、セミナー後援依頼が届いています。ご検討宜しくお願い致します。 セミナー名称：第23回 沖縄呼吸ケアセミナー 日時：2014年3月22日（土）13時～17時30分 場所：沖縄産業支援センター	
審議結果	①全会一致で承認。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第5号議案 セラピストのためのクリニカルクラークシップ研究会後援・広報依頼について（事務局）

議案内容	セラピストのためのクリニカルクラークシップ研究会より、後援・広報依頼が届いています。ご検討宜しくお願い致します。 テーマ「クリニカル・クラークシップによる臨床指導」 日時：2014年3月8日（土）9時30分～17時30分 3月9日（日）9時30分～12時30分 場所：社会医療法人友愛会 豊見城中央病院5階 「多目的ホール」	
審議結果	②ともに全会一致で承認。	
	担当局：事務局	担当部：総務部

第6号議案 平成25年度 養成校の卒業式出席について（事務局）

議案内容	県内養成校2校より、平成25年度の卒業式出席についてご案内が届いています。ご検討宜しくお願い致します。 ■沖繩リハビリテーション福祉学院 日時：平成26年3月9日（日）午前10時より 会場：沖繩リハビリテーション福祉学院 7階講堂 ■琉球リハビリテーション学院 日時：平成26年度3月8日（土）午後12時 開式（午前11時30分開場） 場所：金武町立 体育館	
審議結果	①両校とも出席。出席者は、沖繩リハビリテーション福祉学院：神谷之美副会長、琉球リハビリテーション学院：玉城義彦理事を選出。 担当局：事務局 担当部：総務部	

第7号議案 第16・17回沖繩県理学療法学会大会大会長選出について（会長）

議案内容	第2章 第2条 2項により大会長の推薦をお願いする。	
審議結果	①池城会長を選出。 担当局：学術大会実行委員会 担当部：	

第8号議案 平成26・27年度日本理学療法士協会補欠代議員の推薦について（会長）

議案内容	公益社団法人日本理学療法士協会代議員選挙実施要綱3. (3) の1) 及び2)の規定により、当理事会にて推薦人の選出をお願いする。	
審議結果	①玉城義彦理事、古堅貞則理事を選出。 担当局：会長 担当部：	

第9号議案 平成26年度 高校野球医療サポート日当額変更について（社会職能局）

議案内容	平成26年度 高校野球医療サポート日当額変更について下記内容の真偽を御願い致します。 平成25年度まで 日当：1000円／1日（試合数関係なし） 平成26年度より、日当：1000円／1試合	
審議結果	①②とも全会一致で承認。詳細は部会で決定後、報告とする。 担当局：社会職能局 担当部：スポーツ事業部	

第10号議案 平成26年度九州ブロック現職者講習会における講師・テーマ選定について（教育學術局）

議案内容	九州ブロック現職者講習会は九州全県輪番制で年に一度開催している講習会である。平成26年度は沖繩県が担当となっている。そこで、今回は講習会における「講師・テーマ」選定について承認頂きたく議案を提出させていただきます。（案） 日時：平成27年1月～平成27年2月 テーマ：『理学療法研究における統計科学について』 『理学療法研究におけるデータ解析について』 講師：対馬栄輝（つしま えいき） 弘前大学大学院保健学研究科（准教授）	
審議結果	講師・テーマについては、全会一致で承認。予算については、今後確認・検討事項とする。 担当局：教育學術局 担当部：教育學術局	

[報告事項]

1. 会長※月次活動報告
 - ・平成25年度組織運営協議会 ・役員講習会
2. 副会長※月次活動報告
3. 事務局※月次活動報告
 - ・H26年予算案について ・H26 1/7～H26 2/12までの收受文書・発行文書表
4. 社会職能局※月次活動報告
 - 国際支援部事業計画説明。
5. 教育學術局※月次活動報告
 - ・第5回沖繩理学療法講習会・第3回教育部会議

沖縄県理学療法士協会スケジュール 平成26年 3月・4月・5月

3月	1日（土）	中部・南部ブロック新人異動会員歓迎会
	16日（日）	第7回沖縄理学療法講習会
4月	26日（土）	平成26年度新人・異動会員オリエンテーション
5月	24日（土）	平成26年度定時総会

事務局便り

■■要注意■■異動申請 お手続きをお願いします！

勤務先、自宅、氏名など会員情報に変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

会費納入について

※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。両方に登録のない方へは協会本部よりコンビニ振込用紙が送付されています。支払期限を確認のうえ速やかに納入して下さい。領収書が必要な方は直接日本理学療法士協会（FAX:03-5414-7913 E-mail:jpta@i.bekkoame.ne.jp）へお問合せ下さい。

会費に関する問合せ 沖縄県理学療法士協会財務担当理事:運天智子 E-mail:optazaimu@gmail.com

【休会期間に関するお知らせ】

今年度より平成24年度より休会期間が1年間となり、休会の手続きは毎年必要となっております。平成25年3月末までに休会継続の手続きがお済でない方は退会扱いとなります。この度、制度周知が十分でないことから多くの会員が退会扱いとされる見込みです。その対策として先日の日本理学療法士協会理事会で休会期間経過退会扱いを1年延期することになりました。沖縄県の会員は21名の方が対象となっております、手続きがなければ退会扱いとなりますのでご周知くださいますようお願いいたします。

ー日本理学療法士協会からー

現在休会されている皆様の休会期間満了日は、一律に【平成26年3月31日】となっております。つきましては、復会、休会継続（更新）、または退会について、手続きをお願いいたします。

平成26年3月31日までに手続きがない場合は、退会となりますのでご注意ください。

お手続きは、マイページよりWeb申請にてお願いいたします。<https://www.japanpt.or.jp/jpta/my/myLoginKaiin.html>

何卒よろしくお願いいたします。※既に手続きが完了してる方は手続き不要です。

〔休会規程〕

■休会期間は1年単位となります。

休会期間は4月1日から翌年3月31日までとなり、年度途中の休会も終期は3月31日となります。

■休会期間満了時（3月31日）までに復会・休会継続・退会いずれかの手続きが必要となります。

※尚、「**休会継続**」の手続き受付期間は【1月1日～3月31日】までとさせていただきます。期間外は受付出来かねますので、ご了承ください。**満了時までには手続きがない場合は、規程により退会**となります。再度入会を希望する場合は、入会金・入会手続きが必要となり、新人教育プログラム・生涯学習基礎プログラムが再履修となります。

■休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、マイページより異動申請にてお手続きください。

■休会中の研修会等への参加資格はなくなります。

〔手続き方法〕

協会ホームページへアクセス <http://www.japanpt.or.jp/>

「マイページからログイン」→「ID・パスワードを入力」→「初回ログイン時、「秘密の質問」を入力」

※2回目以降は表示されません。→「「会員管理」から申請（休会申請・復会申請・退会申請）」

※インターネットからの手続きが出来ない場合は、日本理学療法士協会へご連絡下さい。

※休会中の会員へ上記の内容がハガキで届く予定です。

【問い合わせ】会員管理について：member-mgt@japanpt.or.jp（TEL03-6804-1421）

平成26年度新人異動会員オリエンテーション開催

下記の日程で平成26年度新人・異動会員オリエンテーションが開催されますのでご案内申し上げます。理学療法関連部署の部署長（責任者）の皆様には対象者への案内と勤務調整などご高配いただきますようお願い申し上げます。会員の皆様には改めてご案内申し上げますのでご確認くださいませようお願いします。事務局 総務部

日 時：平成26年4月26日（土）13：30～（受付18：15～）

場 所：沖縄県総合福祉センター 403研修室

対象：平成25年度新規会員、入会予定者、他都道府県からの異動会員

※例年と会場が異なりますのでお間違えのないようご注意ください。



教育学術局便り(研修部)

第7回 沖縄理学療法講習会 ☆

日時：平成26年3月16日（日）、受付9:00～、開演9:30～16:30 会場：かりゆし病院

受講費：会員2,000円、非会員3,000円

テーマ：「歩行分析と運動器疾患へのアプローチのコツ」

講師：宮城健次（名護スポーツリハビリテーションセンター スポーク・クリニック）

「糖尿病合併症者のリスク管理の重要性とそのポイント」

講師：長嶺敦司（ハートライフクリニック）

申込先 宛先：h.masahiro@live.jp 件名：「第7回沖縄理学療法講習会 申込み」

内容：①会員番号、②氏名、③所属名、④メールアドレス、⑤職種（PT以外の職種）

※④携帯からの申込みは、設定により受信拒否される事がありますのでご遠慮下さい。

※⑤理学療法士以外の職種の方のみ、ご記入ください。

備考：○生涯学習システム「単位」および「ポイント」付与

○新人教育プログラム未修了者 C-2 運動器疾患の理学療法 C-3 内部障害の理学療法

○新人教育プログラム修了者 10ポイント

■■沖縄理学療法講習会に関する説明事項■■

1. 理学療法士を含む医療従事者を対象とした講習会です。
2. 生涯学習システムの「単位読替え」や「ポイント付与」が認定される講習会です。
※「日本糖尿病療養指導士の認定更新のための研修会」として認定された講習会です。
3. 講習会への参加を希望される方は、メールにてお申込みください。
4. 両替作業の削減及び手続き時間の短縮化を図るため、「お釣りが無いように！準備をお願いします。」
5. 生涯学習に関する質問やお問い合わせは、休憩時間をお願いします。
質問内容は、「問い合わせ書」に記入して提出してください。後日ご返答いたします。
※「問い合わせ書」→沖縄県理学療法士協会ホームページ（会員の方のみ）
6. 諸事情により退室する場合は、係に了解を得て下さい。

沖縄県理学療法士協会 主催 研修・講習会

沖縄県理学療法士会 訪問リハビリテーション推進部 勉強会のお知らせ

今回、下記の日程で勉強会を開催いたします。参加を希望される方は下記の方法で申し込み頂きますようご案内申し上げます。

【開催概要】

テーマ：今年もお役に立てました！～訪問リハビリの成功事例を共有し、明日に活かそう～

日時：平成26年3月19日（第3水） 19時～21時

場所：沖縄リハビリテーションセンター病院 8階会議室

沖縄県沖縄市比屋根2-15-1 TEL：098-982-1777（代表）

対象：在宅でのリハビリに実務している方・興味のある方・ケアマネ・訪看・ヘルパーさん

参加費：無料 ※理学療法士で県士会費未納の方については500円徴収します。

作業療法士会地域連携リハ研究会・沖縄県言語聴覚士訪問リハ委員会と共同開催します

今回の勉強会では訪問リハビリの成功事例をあげ、成功に至るにあたって工夫した点、訪問ならではの視点などを参加者と共有し、明日に活かせる内容としています。この機会に楽しく学んでみませんか。

訪問リハビリに限らず、在宅生活の支援に関わる皆様との情報の共有も目的としております。

会場でお会いできる事を楽しみにしています。

【申し込み方法と問い合わせ先】

下記の内容を記載の上、メールにてお申し込み下さい

①氏名 ②所属と事業所の所在市町村 ③職種 ④県士会 会員・非会員

メールでの申し込み・問い合わせ houmonreha58@gmail.com

申し込み〆切：当日13時まで（資料・会場準備のため）

訪問リハ推進部 部長 桑江睦子（大道中央病院 訪問リハビリテーション）

他団体主催 研修・講習会

Updraft Physio 機能解剖に基いた理学療法セミナー

【講師】林 典雄 先生（中部学院大学 教授）

〈セミナー①〉【日程】平成26年4月12日(土) 14:00～19:00

【テーマ】「膝関節の機能解剖に基づいた理学療法」

【会場】沖縄リハビリテーションセンター病院8階カンファレンス室

〈セミナー②〉【日程】平成26年4月13日(日) 10:00～16:00

【テーマ】「肩関節の機能解剖に基づいた理学療法」

【会場】沖縄リハビリテーション福祉学院 6階

※両セミナーとも会場が異なりますので、ご注意ください。

【受講費】各5000円 【定員】各40名 ※先着順

【申し込み】メールにて①氏名、②所属先、③職種、④連絡先（PCメール）を明記のうえ、件名に「機能解剖 膝」「機能解剖 肩」と希望セミナーを記載してお申込みください。

申し込み先：updraft_seminar@yahoo.co.jp 担当：比嘉 俊文

【沖縄物理医学研究会・研修会Part10のご案内】

【内容】「基本的動作促進法と基本的動作介助法 1（予定）」

「SJF技術（関節ファシリテーション）」

※治療の場面において必要不可欠な動作促進・介助法を入門編として基礎から教授して頂く予定です。また、障害に応じた介助法、促進法も合わせて行います。

【日程】平成26年6月21日（土）14:00～17:30（13:30受付開始）

平成26年6月22日（日）09:00～16:00（08:30受付開始）

【講師】築山尚司先生（岡山大学病院 総合リハビリテーション部士長 SJF学会理事）

【対象】理学療法士・作業療法士 【定員】50名（定員になり次第終了致します。）

【受講料】両日8000円、（土）4000円（日）5000円

【会場】現在調整中 【主催】沖縄物理医学研究会

【申し込み】①氏名②性別③所属施設④職種⑤免許取得年⑥常時連絡がとれる番号

下記にメールを送信して頂き3日以内にPDFを添付し返信を致します。3日以内に返信が無い場合お手数ですがご連絡をお願い致します。E-Mail：okinawapmr@yahoo.co.jp

【問い合わせ】沖縄物理医学研究会事務局 北城整形外科 渡久地 TEL (098) 930-7777

【平成25年度 沖リハ同窓会勉強会】

大勉強会②

【テーマ】運動支援の心理学・視線と身体運動～知覚・視覚を活かす～

【講師】樋口 貴広先生（首都大学東京）

【日時】平成26年3月15日（土）10:00～16:00（受付9:30～）

【会場】沖縄リハビリテーションセンター病院

【定員】50名 【対象】医療従事者 【受講費】同窓生3,000円（会費納入済み者）、同窓生外4,000円

【申込み】現在受付中～平成26年3月14日（金）まで

【申込方法】メールでの申し込みとなります。

宛先：okireha.dousoukai@gmail.com 件名：「②大勉強会」

内容：①氏名、②所属、③同窓生（卒業期）or同窓生外

【問合先】沖リハ同窓会学術部：座安 真理（与那原中央病院） okireha.dousoukai@gmail.com

【お願い】受付時の混雑予防の為、必ず事前申込みの上ご参加下さいますようお願い致します。

通所系リハビリテーション研修会 ～ 次世代通所系リハビリサービスの確立に向けて ～

主催：公益社団法人 日本理学療法士協会

日程：平成 26 年 3 月 15 日（土）～3 月 16 日（日） 時間 受付開始 15 日 9:20 研修終了時間 16:00

対象：PT・OT・ST（PT 協会会員でなくても参加可能）

定員：140 名（先着順）

参加費：10000 円 お弁当 2 日分：2000 円（2 日分のみ受け付けます）

懇親会：5000 円（場所は研修会当日にお知らせします）

申込み：日本理学療法士協会ホームページ（<http://www.japanpt.or.jp/>）からお願い致します。

会員の方は、マイページよりお申し込みください。会員外の方は、協会ホームページの「セミナー・講習会情報閲覧」より、「その他協会主催」→「通所系リハビリテーション研修会」をご検索いただき、「事前申込」から FAX にてお申し込みください。

問合せ：公益社団法人 日本理学療法士協会 事務局まで shougai@japanpt.or.jp

第13回沖縄県リハビリテーション医学会・協会研修会

日時：3月28日(金)午後7時30分

場所：琉球大学医学部附属病院 臨床講義棟2階 大講義室

テーマ：脳卒中リハビリテーションにおける訓練方法の捉え方

講師：藤田保健衛生大学七栗サナトリウム病院 教授 園田 茂 先生

参加費：500円※事前申込は不要です 主催：沖縄県リハビリテーション医学会・協会

問合せ先：琉球大学医学部附属病院 整形外科 岸本 幸明 TEL：098-895-1329 FAX：098-895-1495

第3回沖縄リハビリテーション栄養研究会

日時：平成26年3月22日（土）14：00～18：00

会場：国立劇場おきなわ

特別講演1：口から食べるための戦略とチームアプローチ

講師 島津さゆり先生（熊本リハビリテーション病院栄養管理科）

特別講演2：リハビリテーション栄養～最新の知見と今後の展開～

講師 若林秀隆先生（横浜市立大付属市民総合医療センターリハビリテーション科助教）

お問合せ：ネスレ日本株式会社ネスレヘルスカンパニー熊谷知子 080-5059-3807（受付時間平日9：00～18：00）

クリニカル・クラークシップ研究会主催 第3回ワークショップin沖縄

【テーマ】『クリニカル・クラークシップによる臨床指導』

【開催日】平成26年3月8日（土）9:45～17:00、9日（日）9:45～12:30（9:15受付）

【会場】社会医療法人友愛会 豊見城中央病院5階「多目的ホール」

【参加費】5000円 【対象】PT・OT・ST正会員（当日、研究会入会の上で受講も歓迎）

【申込方法】正会員：当研究会HP（<http://reh-ccs.kenkyuukai.jp/special/?id=5260>）のイベント欄から参加お申し込み下さい。

会員外：当研究会HP（<http://reh-ccs.kenkyuukai.jp/special/?id=5260>）にて会員登録後、お申込ください。なお、ワークショップ当日に入会手続き希望される方は、HP右下の問い合わせ欄より、ワークショップ参加希望として、お名前、ご所属、連絡先（メールアドレス、所属先電話番号等）を記入の上、お申し込み下さい。

【内容】臨床実習指導においてクリニカル・クラークシップ導入検討をされている施設、または既に導入されている施設を対象にクリニカル・クラークシップの本質を理解して頂き、臨床場面における実践方法を学んで頂くため、ワークショップを開催致します。

【問い合わせ先】morizane@kobe-kiu.ac.jp

セラピストのためのクリニカル・クラークシップ研究会事務局 森實 徹

広報部便り

本誌へ研修会案内の掲載をご希望の場合は、当会HPより「広報誌掲載申込書」をダウンロードし、申込書へ必要事項を記入後、当協会事務局まで郵送して頂きますようお願いいたします。尚、掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日締切で翌月号への掲載となります。★掲載内容は概ね300字を目安としています。

[沖縄県理学療法士協会HP:<http://www.oki-pt.jp>]

【研修案内に関する問い合わせ】 沖縄県理学療法士協会事務局 098-930-5023

(月～金曜日9:00～18:00 担当:比嘉) optaoffice@oki-pt.jp

【広報部員募集】

広報部では当協会の活動の取材をし、広報誌の作成に携わる部員（会員）を募集しています。学術活動だけでなく、様々な活動を通して新たなネットワークも作れます。お気軽にご応募下さい。部会の見学だけでもOKです。事務所：098-930-5023 optaoffice@oki-pt.jp

理学療法士募集

募集人員：若干名

診療科目：内科・消化器科

呼吸器科・循環器科

総病床数：88床（一般35床・療養53床）

勤務時間：8：30～17：30

給与：205,000円～

（通勤手当別途支給）

休日：日曜・祝祭日・隔週土曜日

待遇：賞与年2回、

各種社会保険完備

応募方法：電話ご連絡の上、面接

（担当：上間）

一般財団法人

琉球生命済生会 琉生病院

沖縄県那覇市字大道56番地

TEL：（098）885-5131

総務部 内（315）

理学療法士・作業療法士 募集

募集人員：若干名

待遇：当法人規程による

賞与年2回、各種社会保険完備

施設概要：有料老人ホーム、

デイサービス

業務内容：デイサービス利用者のリハビリ

各業務で必要の記録、作成

勤務時間：8：30～17：30

休日：日曜日、その他

応募方法：随時電話にてご連絡下さい。

医療法人おくまクリニック

デイサービス「チャレンジ」

〒904-1201 金武町字金武4836-7

TEL:098-968-6987 FAX：098-968-6988

担当 宮川、奥間